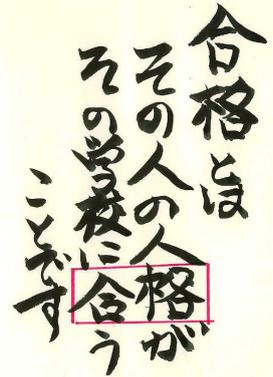


## 「合格」とは

みなさんにとって、合格とは、これまでの努力（①学びが始まってからの勉強 ②義務教育が有限であるからこそその「頑張ること」「我慢すること」の積み重ねが実り、未来のためのスタートを切る節目であると考えます。一人一人受験する学校は違いますが、次の自分を伸ばすことができる場所として堂々と入学してもらいたいです。

以前読んだ本の中に「**合格とは、その人の人格が、その学校に合うことです**」と書いてありました。人格とは、その人の性格、品格、人柄、人間性等です。その中で、今学生であるみなさんにとって一番大事なことは、学びを求める**ひた向き**（ある一つの事柄に一生懸命になること）さです。

日々の授業の中での学び、集団で生活するための公での生活態度はどうあるべきかの学びです。下記に数学科の最後の定期テストを終えて振り返った内容を載せます。これからの受験勉強の想いの参考にしてください。



-----  
【第3回数学科定期テストを終えて】実施日10月24・25日（木・金）

□数学の成績にはブレがあって、いつも安定した点数が取れるわけじゃないので安定するように沢山勉強しました。得意ではないし理解するのに時間はかかるし応用は必ずひっかかるので毎日2時間は数学をやると決めてテスト準備期間中、特に力を入れました。何度も繰り返すことで、パターンが見えてきたり、別の問題に応用できたりと「問題が解けるようになる段階がすごく楽しかった」です。入学したい学校と自分の学力のレベルが同じようなので、もう1つ上を目指せるところまで成績を上げて、受験に対して余裕を持ちたいことが今の状況です。そのためにも、どの教科も漏れ落ちなく努力を続けたいです。

□入試の数学はあり得ないくらい難しい問題が出ることを9月に改めて知って正直心が折れました。今まで定期テストが良くて数学がめちゃくちゃ得意なんだと思っていましたが千葉県過去の問を見ると全然わからなくてどうしようかと思いました。でもそれは「入試のための経験値が足りなかっただけ」と僕は気付きました。だから毎日2時間は数学をやると決めてそれを実行したら実力テストで良い結果【92→67→91】を残せました。現状に満足せず、もっと向上しようと思います。

□やり直しをしてわかったことは、よく見たら、自分で解ける問題が解けてなかったこと。また、計算ミスや「+」「-」を勝手に付けてしまい点数を落としてしまったこと。中学1年生でも解ける問題が解けていなかったのが本当に「自分はやばい」など思った。高校受験が近づいているので、今まで放置してきた数学をちょっとずつ勉強したいと思った。

□進路実現のための決意として、「最後まで経験を積む＝自己研鑽を怠らないこと」そして「部活期を思い出す」ということを掲げます。部活動が終わり、やることもなく宙ぶらりんになった私のやる気は何にも向かなくなってしまいました。恥ずかしながら今回の定期テスト勉強も「一応」やるだけで第2回を超える熱量は出ていなかったです。基準の90点は超えましたがついに満点という大きな目標は達成されず終了でした。しかしまだ受験があります。ここで最高の成果を挙げるのが最も素晴らしいことです。「一応」ではなく「真剣」に勉強をすることです。

-----  
※老婆心ながら、次のこと、意識を高めて実践してください。(昨日から三者面談です)

先週、13(水)は学年の学年進路会議そして15(金)は全校進路会議でした。受験に向けて準備をすることは沢山あります。先生方もあります。そのため、みなさんは4校時後、給食を摂り下校でした。下校の中で、下校に相應しくない態度（①服装の乱れ ②通学路の歩き方）がありました。通常とは違う時間で下校するときほど地域の方は、みなさんをよりよく見えています。臼井中生として、受験生として相應しい態度がとれるといいですね。



